

平成26年度  
中間決算説明資料

株式会社 沖縄海邦銀行

## 【目 次】

	ページ
I 平成26年度中間期決算ダイジェスト	
1. 損益状況	単 ..... 1
2. 資産・負債の状況	単 ..... 2
3. 預かり資産の状況	単 ..... 3
4. 不良債権（金融再生法開示基準）の状況	単 ..... 3
II 平成26年度中間期決算の概況	
1. 損益状況	単・連 ..... 4・5
2. 業務純益	単 ..... 5
3. 利鞘	単 ..... 6
4. 有価証券関係損益	単 ..... 6
5. 自己資本比率（国内基準）	単・連 ..... 7
6. ROE	単 ..... 7
III 貸出金等の状況	
1. リスク管理債権の状況	単・連 ..... 8
2. 貸倒引当金等の状況	単・連 ..... 9
3. リスク管理債権に対する引当率	単・連 ..... 9
4. 金融再生法開示債権の状況	単・連 ..... 10
5. 金融再生法開示債権の保全状況	単・連 ..... 10
6. 金融再生法開示基準並びに自己査定債務者区分に対応した引当率・保全率の状況	単・連 ..... 11・12
7. 自己査定による債権分類（率）の状況	単 ..... 12
8. 業種別貸出状況等	
（1）業種別貸出金	単 ..... 13
（2）業種別リスク管理債権	単 ..... 14
（3）卸・小売、建設、不動産、その他金融向けの貸出残高、不良債権残高	単 ..... 15
（4）消費者ローン残高	単 ..... 15
（5）中小企業等貸出残高及び貸出比率	単 ..... 16
（6）不動産向けノンリコースローンの残高	単 ..... 16
9. 信用保証協会保証付き融資（期末残高）	単 ..... 16
10. 系列ノンバンク向け融資残高	単 ..... 16
11. 預金、貸出金の残高	単 ..... 16
12. 個人・法人預金（平残）	単 ..... 16
【参考資料】	
1. 業績等予想（単体）	単 ..... 17
2. 役員、従業員数、店舗数	単 ..... 17
3. 時価のある有価証券の評価差額	単 ..... 17
4. 保有株式について	単 ..... 18
5. 不良債権について	単・連 ..... 18～20

# I. 平成26年度中間期決算ダイジェスト

## 1. 損益状況【単体】

### ○経常収益

貸出金利息の増加などにより資金運用収益は増加しましたが、有価証券売却益及び貸倒引当金戻入益が減少したことなどから、前年同期比3億56百万円減少の64億46百万円となりました。

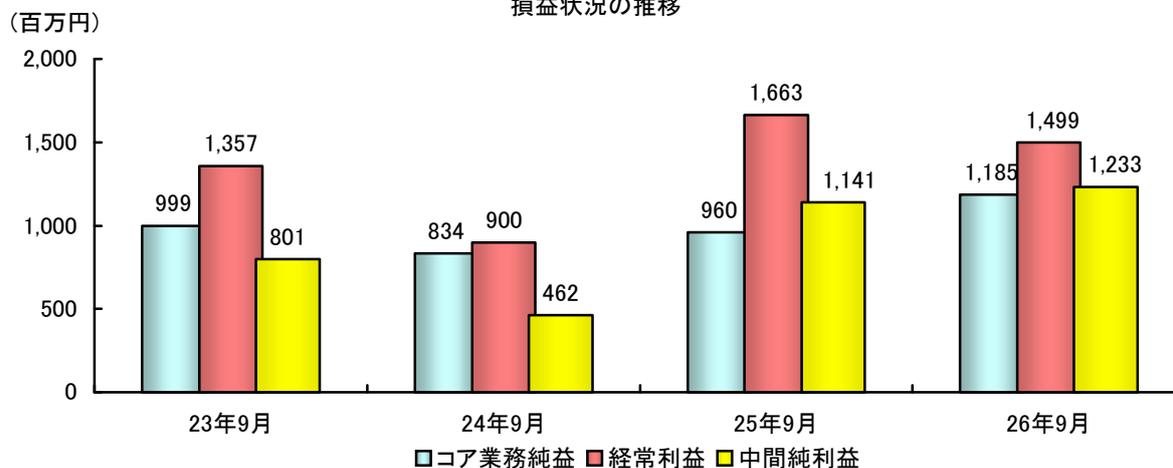
### ○コア業務純益

貸出金利息の増加及び預金利息の減少により資金利益が増加したほか、経費が減少したことなどから、前年同期比2億25百万円増加の11億85百万円となりました。

(単位：百万円)

	26年9月期		25年9月期
		25年9月期比	
経常収益	6,446	△356	6,802
業務粗利益	5,486	△197	5,683
資金利益	5,046	202	4,844
役務取引等利益	210	△49	259
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	229 (189)	△350 (△355)	579 (544)
経費(除く臨時処理分)	4,111	△66	4,177
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,375	△130	1,505
コア業務純益	1,185	225	960
一般貸倒引当金繰入額	—	—	—
業務純益	1,375	△130	1,505
臨時損益	123	△35	158
うち株式等関係損益	68	59	9
うち不良債権処理額(△)	36	△41	77
うち貸倒引当金戻入益	95	△183	278
経常利益	1,499	△164	1,663
特別損益	1	36	△35
税引前中間純利益	1,500	△127	1,627
法人税等合計	266	△220	486
中間純利益	1,233	92	1,141

損益状況の推移



## 2. 資産・負債の状況【単体】

預金および貸出金とも増加し、預金と貸出金を合計した預貸和は、創業以来初の「1兆円」を達成しました。

### (1) 貸出金

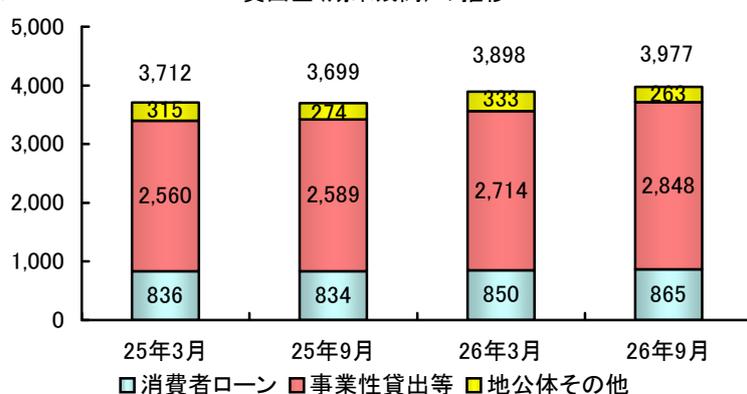
不動産業など事業性貸出が増加したほか、消費者ローンが増加したことなどから、前年同期比 278 億 56 百万円増加の 3,977 億 94 百万円となりました。平均残高は 254 億 40 百万円増加の 3,817 億 10 百万円となりました。

(単位：百万円)

	26年9月		25年9月	26年3月
		25年9月末比		
貸出金（期末残高）	397,794	27,856	369,938	389,865
事業性貸出等	284,871	25,880	258,991	271,445
消費者ローン	86,579	3,080	83,499	85,062
住宅ローン	69,696	1,561	68,135	68,893
地方公共団体	26,344	△1,104	27,448	33,358
貸出金（平均残高）	381,710	25,440	356,270	362,927

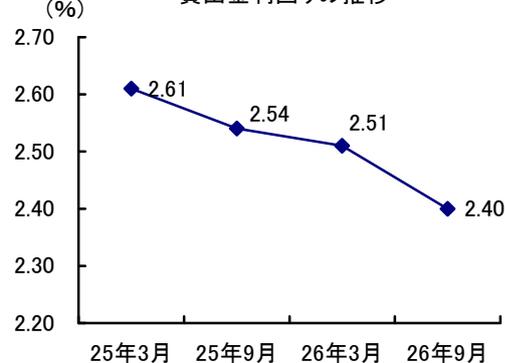
(億円)

貸出金（期末残高）の推移



(%)

貸出金利回りの推移



### (2) 預金

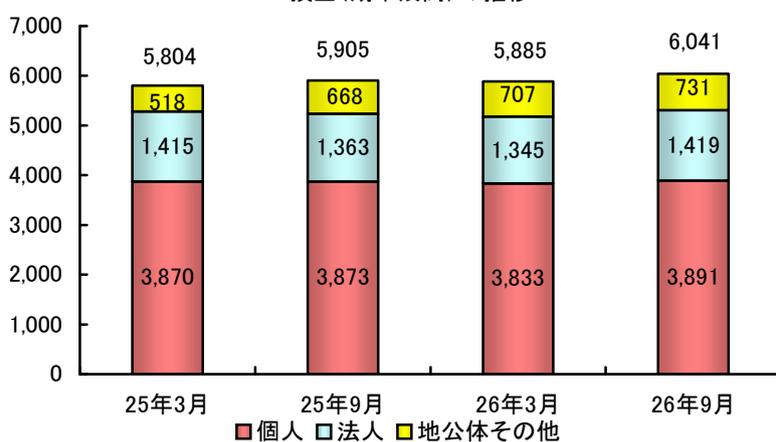
公金預金のほか、個人預金、法人預金が増加したことにより、前年同期比 136 億 8 百万円増加の 6,041 億 85 百万円となりました。平均残高は 89 億 38 百万円増加の 5,898 億 19 百万円となりました。

(単位：百万円)

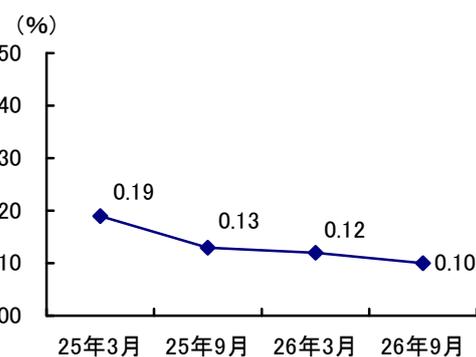
	26年9月		25年9月	26年3月
		25年9月末比		
預金（期末残高）	604,185	13,608	590,577	588,594
個人	389,106	1,746	387,360	383,302
法人	141,959	5,572	136,387	134,526
地方公共団体その他	73,120	6,291	66,829	70,765
預金（平均残高）	589,819	8,938	580,881	577,398

(億円)

預金（期末残高）の推移



預金金利回りの推移

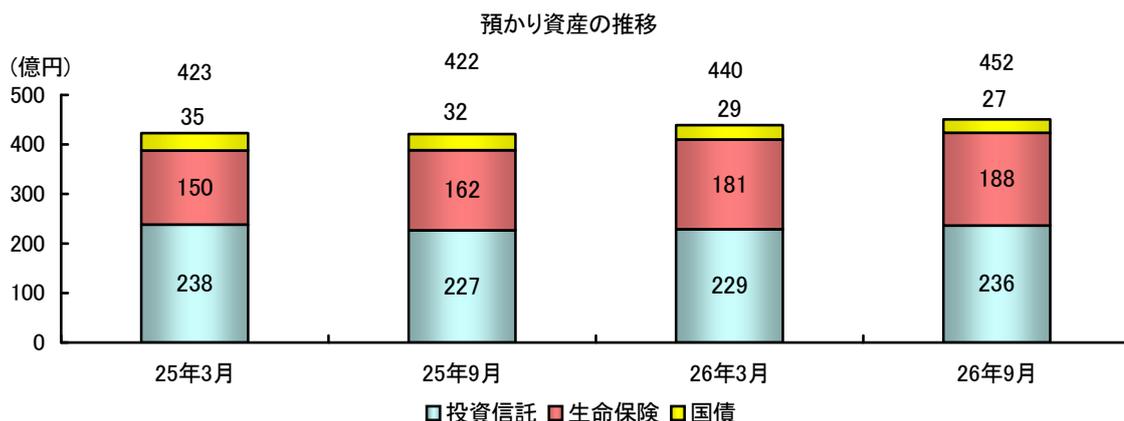


### 3. 預かり資産の状況【単体】

償還により国債は減少したものの、市況の改善により投資信託の販売が増加したほか、定額個人年金や終身保険の販売増加により、前年同期比 29 億 55 百万円増加の 452 億 23 百万円となりました。

(単位：百万円)

	26 年 9 月		25 年 9 月	26 年 3 月
		25 年 9 月末比		
預かり資産	45,223	2,955	42,268	44,035
投資信託	23,608	813	22,795	22,964
生命保険	18,822	2,558	16,264	18,120
国債	2,792	△416	3,208	2,949

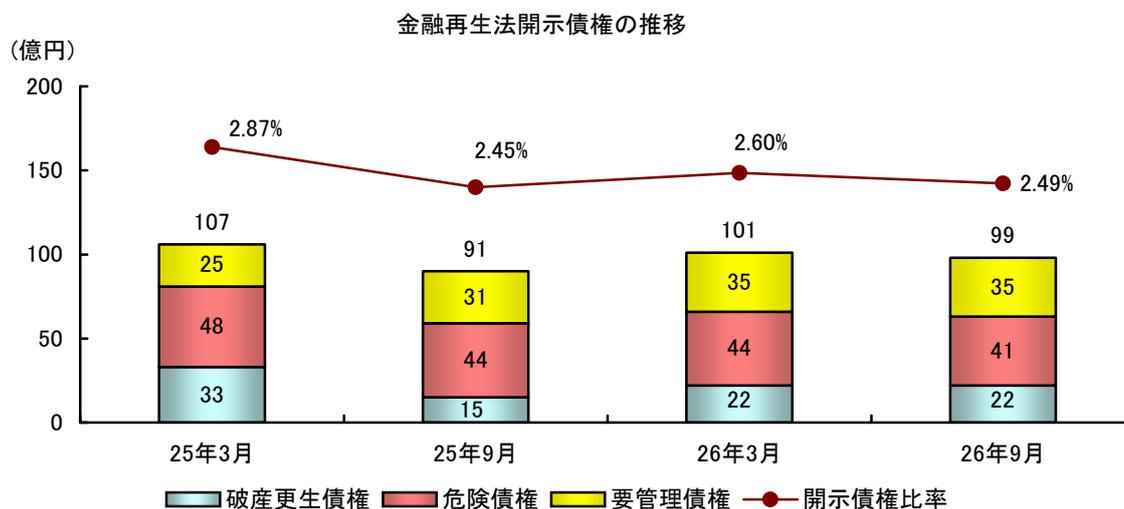


### 4. 不良債権（金融再生法開示基準）の状況【単体】

金融再生法開示債権は、前年同期比 8 億 40 百万円増加の 99 億 48 百万円、開示債権比率は前年同期比 0.04 ポイント上昇の 2.49%となりました。開示債権は前年比増加しましたが、開示債権比率は低い水準となっています。

(単位：百万円)

	26 年 9 月		25 年 9 月	26 年 3 月
		25 年 9 月末比		
金融再生法開示債権	9,948	840	9,108	10,191
破産更生債権	2,200	674	1,526	2,224
危険債権	4,195	△282	4,477	4,404
要管理債権	3,552	448	3,104	3,563
正常債権	388,978	27,002	361,976	381,339
総与信額	398,927	27,843	371,084	391,531
開示債権比率	2.49%	0.04%	2.45%	2.60%



## II 平成26年度中間期決算の概況

### 1. 損益状況【単体】

(単位:百万円)

	26年9月期	25年9月期比	
		25年9月期比	25年9月期
業務粗利益	5,486	△197	5,683
国内業務粗利益	5,425	△198	5,623
資金利益	5,023	205	4,818
役務取引等利益	205	△49	254
その他業務利益	197	△353	550
国際業務粗利益	60	1	59
資金利益	22	△3	25
役務取引等利益	5	1	4
その他業務利益	32	4	28
経費(除く臨時処理分)	4,111	△66	4,177
人件費	2,282	132	2,150
物件費	1,586	△202	1,788
税金	242	4	238
業務純益(一般貸倒繰入前)	1,375	△130	1,505
除く国債等債券損益(5勘定戻)	1,185	225	960
一般貸倒引当金繰入額 ①	—	—	—
業務純益	1,375	△130	1,505
うち国債等債券損益(5勘定戻)	189	△355	544
臨時損益	123	△35	158
株式等損益(3勘定戻)	68	59	9
不良債権処理額 ②	36	△41	77
個別貸倒引当金繰入額	—	—	—
偶発損失引当金繰入額	—	△1	1
その他の債権売却損等	36	△39	75
貸倒引当金戻入益 ③	95	△183	278
償却債権取立益 ④	1	0	1
偶発損失引当金戻入益 ⑤	6	6	—
その他臨時損益	△12	41	△53
経常利益	1,499	△164	1,663
特別損益	1	36	△35
固定資産処分損益	1	7	△6
減損損失	—	△29	29
税引前中間純利益	1,500	△127	1,627
法人税・住民税及び事業税	389	132	257
法人税等調整額	△123	△352	229
法人税等合計	266	△220	486
中間純利益	1,233	92	1,141
(ご参考)			
与信関係費用(①+②-③-④-⑤)	△67	135	△202

(注) 貸倒引当金戻入益の内訳：一般貸倒引当金繰入額△44百万円、個別貸倒引当金繰入額△51百万円

## 損益状況【連結】

(単位:百万円)

	26年9月期		25年9月期
		25年9月期比	
連結粗利益	5,484	△236	5,720
資金利益	4,993	147	4,846
役務取引等利益	261	△33	294
その他業務利益	229	△350	579
営業経費	4,170	△121	4,291
貸倒償却引当費用	36	△62	98
個別貸倒引当金繰入額	—	—	—
一般貸倒引当金繰入額	—	—	—
偶発損失引当金繰入額	—	△1	1
その他の債権売却損等	36	△60	96
貸倒引当金戻入益	95	△183	278
償却債権取立益	1	0	1
偶発損失引当金戻入益	6	6	—
株式等関係損益	83	74	9
その他	△14	△7	△7
経常利益	1,449	△164	1,613
特別損益	1	36	△35
税金等調整前中間純利益	1,451	△126	1,577
法人税・住民税及び事業税	390	131	259
法人税等調整額	△124	△351	227
法人税等合計	265	△222	487
少数株主損益調整前中間純利益	1,185	96	1,089
少数株主利益 (△は少数株主損失)	△1	2	△3
中間純利益	1,186	93	1,093

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(参考)

(単位:百万円)

連結業務純益	1,326	△128	1,454
--------	-------	------	-------

(注) 連結業務純益 = 単体業務純益 + 子会社経常利益 - 内部取引 (配当等)

(連結対象会社数)

(単位:社)

連結子会社数	2	△2	4
持分法適用会社数	0	—	0

## 2. 業務純益【単体】

(単位:百万円)

	26年9月期		25年9月期
		25年9月期比	
業務純益 (一般貸倒繰入前)	1,375	△130	1,505
職員一人当たり (千円)	2,083	△450	2,533
業務純益	1,375	△130	1,505
職員一人当たり (千円)	2,083	△450	2,533

(注) 職員数は期中平均人員 (出向者除く) を使用しております。

### 3. 利鞘【単体】

#### (1) 総合

(単位：%)

	26年9月期	25年9月期	
		25年9月期比	25年9月期
資金運用利回 (A)	1.73	△0.02	1.75
貸出金利回	2.40	△0.14	2.54
有価証券利回	0.78	0.09	0.69
資金調達原価 (B)	1.48	△0.07	1.55
預金等利回	0.10	△0.03	0.13
外部負債利回	—	—	—
総資金利鞘 (A) - (B)	0.25	0.05	0.20

#### (2) 国内部門

(単位：%)

	26年9月期	25年9月期	
		25年9月期比	25年9月期
資金運用利回 (A)	1.73	△0.02	1.75
貸出金利回	2.40	△0.14	2.54
有価証券利回	0.77	0.09	0.68
資金調達原価 (B)	1.43	△0.07	1.50
預金等利回	0.10	△0.03	0.13
外部負債利回	—	—	—
総資金利鞘 (A) - (B)	0.30	0.05	0.25

### 4. 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	26年9月期	25年9月期	
		25年9月期比	25年9月期
国債等債券損益 (5勘定戻)	189	△355	544
売却益	142	△405	547
償還益	47	47	—
売却損	—	△2	2
償還損	—	—	—
償却	1	1	0
株式等損益 (3勘定戻)	68	59	9
売却益	83	56	27
売却損	—	—	—
償却	15	△2	17

5. 自己資本比率（国内基準）【単体】

(単位:百万円、%)

	26年9月末	26年3月末
(1) 自己資本比率(4) ÷ (5)	9.66	9.83
(2) コア資本に係る基礎項目	34,523	33,412
(3) コア資本に係る調整項目	—	—
(4) 自己資本(2) - (3)	34,523	33,412
(5) リスクアセット	357,218	339,875

	25年9月末
(1) 自己資本比率(5) ÷ (6)	10.04
(2) Tier I	32,172
(3) Tier II	1,114
(4) 控除項目	395
(5) 自己資本(2) + (3) - (4)	32,892
(6) リスクアセット	327,517

自己資本比率（国内基準）【連結】

(単位:百万円、%)

	26年9月末	26年3月末
(1) 自己資本比率(4) ÷ (5)	9.66	9.84
(2) コア資本に係る基礎項目	34,544	33,481
(3) コア資本に係る調整項目	—	—
(4) 自己資本(2) - (3)	34,544	33,481
(5) リスクアセット	357,434	340,140

	25年9月末
(1) 自己資本比率(5) ÷ (6)	10.05
(2) Tier I	32,239
(3) Tier II	1,114
(4) 控除項目	395
(5) 自己資本(2) + (3) - (4)	32,959
(6) リスクアセット	327,837

(注) 平成26年3月期より新自己資本比率規制（バーゼルⅢ・国内基準）に基づき算出しております。

6. ROE【単体】

(単位:%)

	26年9月期		25年9月期
		25年9月期比	
業務純益ベース	7.61	△1.11	8.72
当期純利益ベース	6.83	0.22	6.61

(算式) 
$$ROE = \frac{\text{業務純益(当期純利益)}}{\text{純資産期中平残}}$$

(注) 分母の純資産勘定平均残高は、期首残高と期末残高の2分の1で算出しております。

### Ⅲ 貸出金等の状況

#### 1. リスク管理債権の状況

部分直接償却実施 (前(後))  
未収利息不計上基準 (自己査定基準)

【単体】

(単位:百万円)

		26年9月末	25年9月末比	26年3月末比	25年9月末	26年3月末
リスク管理債権	破綻先債権	175	65	82	110	93
	延滞債権	6,188	340	△311	5,848	6,499
	3カ月以上延滞債権	27	27	13	—	14
	貸出条件緩和債権	3,525	421	△23	3,104	3,548
	合計	9,916	853	△239	9,063	10,155

貸出金残高 (末残)	397,794	27,856	7,929	369,938	389,865
------------	---------	--------	-------	---------	---------

(単位: %, P t)

貸出金残高比	破綻先債権	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02
	延滞債権	1.55	△0.03	△0.11	1.58	1.66
	3カ月以上延滞債権	0.00	0.00	0.00	—	0.00
	貸出条件緩和債権	0.88	0.05	△0.03	0.83	0.91
	合計	2.49	0.05	△0.11	2.44	2.60

【連結】

(単位:百万円)

		26年9月末	25年9月末比	26年3月末比	25年9月末	26年3月末
リスク管理債権	破綻先債権	175	65	82	110	93
	延滞債権	6,188	340	△311	5,848	6,499
	3カ月以上延滞債権	27	27	13	—	14
	貸出条件緩和債権	3,525	421	△23	3,104	3,548
	合計	9,916	853	△239	9,063	10,155

貸出金残高 (末残)	397,794	27,856	7,959	369,938	389,835
------------	---------	--------	-------	---------	---------

(単位: %, P t)

貸出金残高比	破綻先債権	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02
	延滞債権	1.55	△0.03	△0.11	1.58	1.66
	3カ月以上延滞債権	0.00	0.00	0.00	—	0.00
	貸出条件緩和債権	0.88	0.05	△0.03	0.83	0.91
	合計	2.49	0.05	△0.11	2.44	2.60

## 2. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(単位:百万円)

	26年9月末	25年9月末比		25年9月末	26年3月末
		25年9月末比	26年3月末比		
貸倒引当金	3,847	251	△103	3,596	3,950
一般貸倒引当金	1,111	△3	△44	1,114	1,155
個別貸倒引当金	2,735	254	△59	2,481	2,794

【連結】

(単位:百万円)

	26年9月末	25年9月末比		25年9月末	26年3月末
		25年9月末比	26年3月末比		
貸倒引当金	3,847	251	△103	3,596	3,950
一般貸倒引当金	1,111	△3	△44	1,114	1,155
個別貸倒引当金	2,735	254	△59	2,481	2,794

## 3. リスク管理債権に対する引当率

【単体】

(単位:%,百万円,P t)

		26年9月末	25年9月末比		25年9月末	26年3月末
			25年9月末比	26年3月末比		
部分直接償却前	B/A	35.46	0.12	△1.02	35.34	36.48
貸倒引当金	B	3,535	314	△188	3,221	3,723
リスク管理債権	A	9,967	854	△239	9,113	10,206
部分直接償却後	D/C	35.13	0.15	△1.03	34.98	36.16
貸倒引当金	D	3,484	314	△188	3,170	3,672
リスク管理債権	C	9,916	853	△239	9,063	10,155

【連結】

(単位:%,百万円,P t)

		26年9月末	25年9月末比		25年9月末	26年3月末
			25年9月末比	26年3月末比		
部分直接償却前	B/A	35.46	0.12	△1.02	35.34	36.48
貸倒引当金	B	3,535	314	△188	3,221	3,723
リスク管理債権	A	9,967	854	△239	9,113	10,206
部分直接償却後	D/C	35.13	0.15	△1.03	34.98	36.16
貸倒引当金	D	3,484	314	△188	3,170	3,672
リスク管理債権	C	9,916	853	△239	9,063	10,155

(注) 上記「部分直接償却前」のリスク管理債権には、部分直接償却残高(当期実施額及び既存実施額)を加算しております。

#### 4. 金融再生法開示債権の状況

部分直接償却実施 (前・**後**)

【単体】

(単位:百万円)

	26年9月末			25年9月末	26年3月末
		25年9月末比	26年3月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,200	674	△24	1,526	2,224
危険債権	4,195	△282	△209	4,477	4,404
要管理債権	3,552	448	△11	3,104	3,563
合計 (A)	9,948	840	△243	9,108	10,191
正常債権	388,978	27,002	7,639	361,976	381,339
総計	398,927	27,843	7,396	371,084	391,531
部分直接償却額	50	—	—	50	50

【連結】

(単位:百万円)

	26年9月末			25年9月末	26年3月末
		25年9月末比	26年3月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,200	674	△24	1,526	2,224
危険債権	4,195	△282	△209	4,477	4,404
要管理債権	3,552	448	△11	3,104	3,563
合計 (A)	9,948	840	△243	9,108	10,191
正常債権	388,978	27,002	7,669	361,976	381,309
総計	398,927	27,843	7,426	371,084	391,501
部分直接償却額	50	—	—	50	50

#### 5. 金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(単位:百万円)

	26年9月末			25年9月末	26年3月末
		25年9月末比	26年3月末比		
保全額 (C)	8,809	923	△209	7,886	9,018
貸倒引当金	3,567	400	△105	3,167	3,672
担保保証等	5,242	523	△103	4,719	5,345
(単位:%)					
保全率 (C) / (A)	88.55	1.97	0.12	86.58	88.43

【連結】

(単位:百万円)

	26年9月末			25年9月末	26年3月末
		25年9月末比	26年3月末比		
保全額 (C)	8,809	923	△209	7,886	9,018
貸倒引当金	3,567	400	△105	3,167	3,672
担保保証等	5,242	523	△103	4,719	5,345
(単位:%)					
保全率 (C) / (A)	88.55	1.97	0.12	86.58	88.43

6. 金融再生法開示基準並びに自己査定債務者区分に対応した引当率・保全率の状況

・金融再生法区分による引当率・保全率の状況【単 体】 (単位:百万円、%)

	26年9月末			
	破産更生債権およびこれらに準ずる債権	危 険 債 権	要 管 理 債 権	合 計
総与信額 (A)	2,200	4,195	3,552	9,948
担保等の保全額 (B)	880	2,330	2,031	5,242
未保全額 (C) = [(A)-(B)]	1,320	1,865	1,520	4,706
引当額 (D)	1,320	1,369	878	3,567
引当率 (D)/(C)	100.00	73.41	57.73	75.80
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	88.17	81.90	88.55

・自己査定債務者区分による引当率・保全率の状況【単 体】 (単位:百万円、%)

	26年9月末			
	破 綻 先 債 権	実質破綻先債権	破綻懸念先債権	合 計
総与信額 (A)	175	2,025	4,195	6,395
担保等の保全額 (B)	125	754	2,330	3,210
未保全額 (C) = [(A)-(B)]	49	1,270	1,865	3,185
引当額 (D)	49	1,270	1,369	2,689
引当率 (D)/(C)	100.00	100.00	73.41	84.43
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	100.00	88.17	92.24

・金融再生法区分による引当率・保全率の状況【連 結】 (単位:百万円、%)

	26年9月末			
	破産更生債権およびこれらに準ずる債権	危 険 債 権	要 管 理 債 権	合 計
総与信額 (A)	2,200	4,195	3,552	9,948
担保等の保全額 (B)	880	2,330	2,031	5,242
未保全額 (C) = [(A)-(B)]	1,320	1,865	1,520	4,706
引当額 (D)	1,320	1,369	878	3,567
引当率 (D)/(C)	100.00	73.41	57.73	75.80
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	88.17	81.90	88.55

・自己査定債務者区分による引当率・保全率の状況【連 結】 (単位:百万円、%)

	26年9月末			
	破 綻 先 債 権	実質破綻先債権	破綻懸念先債権	合 計
総与信額 (A)	175	2,025	4,195	6,395
担保等の保全額 (B)	125	754	2,330	3,210
未保全額 (C) = [(A)-(B)]	49	1,270	1,865	3,185
引当額 (D)	49	1,270	1,369	2,689
引当率 (D)/(C)	100.00	100.00	73.41	84.43
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	100.00	88.17	92.24

・金融再生法開示基準

自己査定 of 債務者区分		債権区分(金融再生法)	償却・引当の方針
破綻先債権		破産更生債権及びこれらに準ずる債権	担保・保証等で保全されていない債権額の100%を償却・引当
実質破綻先債権			
破綻懸念先債権		危険債権	貸倒実績率に基づく予想損失率を乗じて算定した予想損失額に相当する額を計上する方法と、対象先の将来キャッシュフローの割引現在価値を見積もり、当該額を担保・保証等で保全されていない債権額から控除した金額を予想損失額として計上する方法により引当
要注意先債権	(要管理先債権)	要管理債権	貸倒実績率に基づく3年間の予想損失額を引当
	(その他の要注意先債権)	正常債権	貸倒実績率に基づく1年間の予想損失額を引当
正常先債権			

7. 自己査定による債権分類(率)の状況【単体】

(単位:百万円、%)

	26年9月末		26年3月末		25年9月末	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
総与信残高	398,927	100.00	391,531	100.00	371,084	100.00
非分類額	348,814	87.44	346,431	88.48	328,761	88.60
分類額合計	50,112	12.56	45,100	11.52	42,323	11.40
Ⅱ分類	49,616	12.44	44,512	11.37	41,780	11.25
Ⅲ分類	495	0.12	587	0.15	542	0.15
Ⅳ分類	—	—	—	—	—	—

(注) 総与信残高…貸付有価証券、貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返分類額は個別貸倒引当及び直接(部分を含む)償却控除後の残高です。

非分類…Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ分類に該当しない資産で、回収の危険性又は価値の毀損の危険性について問題のない資産。

Ⅱ分類…回収について通常の度合いを超える危険を含むと認められる資産。

Ⅲ分類…最終の回収又は価値について重大な懸念が存し、損失の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産。

Ⅳ分類…回収不可能又は無価値と判定される資産。

## 8. 業種別貸出状況等

### (1) 業種別貸出金【単体】

(単位:百万円)

	26年9月末			25年9月末	26年3月末
		25年9月末比	26年3月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	397,794	27,856	7,929	369,938	389,865
製造業	10,195	2,291	1,881	7,904	8,314
農業、林業	1,411	387	274	1,024	1,137
漁業	126	14	4	112	122
鉱業、砕石業、砂利採取業	724	39	△110	685	834
建設業	21,605	200	559	21,405	21,046
電気・ガス・熱供給・水道業	3,156	2,336	1,535	820	1,621
情報通信業	915	53	23	862	892
運輸業、郵便業	3,964	401	139	3,563	3,825
卸売業	9,748	△590	△1,068	10,338	10,816
小売業	18,843	209	1,777	18,634	17,066
金融業、保険業	6,594	779	18	5,815	6,576
不動産業	163,920	18,034	8,975	145,886	154,945
物品賃貸業	6,582	△657	△241	7,239	6,823
学術研究、専門・技術サービス業	3,379	△63	17	3,442	3,362
宿泊業	6,987	392	117	6,595	6,870
飲食業	4,966	172	△128	4,794	5,094
生活関連サービス業、娯楽業	9,221	△33	△520	9,254	9,741
教育、学習支援業	1,057	31	23	1,026	1,034
医療・福祉	15,154	2,927	438	12,227	14,716
その他のサービス	7,310	502	747	6,808	6,563
地方公共団体	26,344	△1,104	△7,014	27,448	33,358
その他	75,581	1,534	482	74,047	75,099

## (2) 業種別リスク管理債権【単体】

(単位:百万円)

	26年9月末			25年9月末	26年3月末
		25年9月末比	26年3月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	9,916	853	△239	9,063	10,155
製造業	13	△56	△6	69	19
農業、林業	7	△22	—	29	7
漁業	2	2	—	—	2
鉱業、砕石業、砂利採取業	0	△0	△0	0	0
建設業	976	△148	△174	1,124	1,150
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—
情報通信業	29	23	15	6	14
運輸業、郵便業	—	△65	△63	65	63
卸売業	294	38	△33	256	327
小売業	1,513	△23	△10	1,536	1,523
金融業、保険業	0	△1	0	1	—
不動産業	3,136	116	39	3,020	3,097
物品賃貸業	1	1	1	—	—
学術研究、専門・技術サービス業	22	△26	△12	48	34
宿泊業	719	64	64	655	655
飲食業	419	43	△10	376	429
生活関連サービス業、娯楽業	498	105	△5	393	503
教育、学習支援業	227	24	△7	203	234
医療・福祉	263	252	27	11	236
その他のサービス	858	479	△85	379	943
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	930	48	20	882	910

## (3) 卸・小売、建設、不動産、その他金融向けの貸出残高、不良債権残高【単体】

(単位：百万円)

		リスク管理債権ベース				
		総貸出残高	3ヵ月以上延滞先	貸出条件緩和先	延滞先	破綻先
卸・小売	25年9月末	28,981	—	461	1,331	0
	26年3月末	27,891	—	505	1,344	0
	26年9月末	28,599	—	503	1,304	0
建設	25年9月末	21,415	—	158	918	47
	26年3月末	21,057	—	404	702	43
	26年9月末	21,614	—	398	567	9
不動産	25年9月末	145,903	—	1,666	1,354	—
	26年3月末	154,963	—	1,694	1,402	—
	26年9月末	163,938	—	1,701	1,316	118
その他金融	25年9月末	2,807	—	—	—	—
	26年3月末	2,694	—	—	—	—
	26年9月末	2,649	—	—	—	—

(単位：百万円)

		金融再生法開示債権ベース			
		総与信残高	要管理債権	危険債権	破産更生債権
卸・小売	25年9月末	29,120	461	1,303	36
	26年3月末	28,026	505	831	522
	26年9月末	28,726	503	784	529
建設	25年9月末	21,603	158	786	179
	26年3月末	21,383	404	346	398
	26年9月末	21,827	398	331	247
不動産	25年9月末	146,108	1,666	768	585
	26年3月末	155,164	1,694	826	575
	26年9月末	164,124	1,701	719	715
その他金融	25年9月末	3,003	—	—	—
	26年3月末	2,902	—	—	—
	26年9月末	2,848	—	—	—

## (4) 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	26年9月末			25年9月末	26年3月末
		25年9月末比	26年3月末比		
消費者ローン残高	86,579	3,080	1,517	83,499	85,062
うち住宅ローン残高	69,696	1,561	803	68,135	68,893
うちその他ローン残高	16,883	1,520	714	15,363	16,169

## (5) 中小企業等貸出残高及び貸出比率【単体】

(単位:百万円、%)

	26年9月末			25年9月末	26年3月末
		25年9月末比	26年3月末比		
中小企業等貸出残高	357,906	30,257	14,796	327,649	343,110
中小企業等貸出比率	89.97	1.41	1.97	88.56	88.00

## (6) 不動産向けノンリコースローンの残高【単体】

(単位:百万円)

	26年9月末	26年3月末	25年9月末
不動産向けノンリコースローンの残高	—	—	21

## 9. 信用保証協会保証付き融資（期末残高）【単体】

(単位:百万円)

	26年9月末	26年3月末	25年9月末
信用保証協会保証付き融資	19,742	20,491	20,674
うち特別保証枠	0	0	0

(注) 特別保証…「中小企業金融安定化特別保証」

## 10. 系列ノンバンク向け融資残高【単体】

(単位:百万円)

	26年9月末	26年3月末	25年9月末
系列ノンバンク向け融資残高	—	—	—

## 11. 預金、貸出金の残高【単体】

(単位:百万円)

	26年9月末			25年9月末	26年3月末
		25年9月末比	26年3月末比		
預金(未残)	604,185	13,608	15,591	590,577	588,594
(平残)	589,819	8,938	12,421	580,881	577,398
貸出金(未残)	397,794	27,856	7,929	369,938	389,865
(平残)	381,710	25,440	18,783	356,270	362,927

## 12. 個人・法人預金(平残)【単体】

(単位:百万円)

	26年9月末			25年9月末	26年3月末
		25年9月末比	26年3月末比		
個人預金	386,630	△1,582	△1,000	388,212	387,630
流動性	186,178	7,829	5,688	178,349	180,490
定期性	200,451	△9,411	△6,688	209,862	207,139
法人預金	130,402	△1,970	1,505	132,372	128,897
流動性	73,017	3,674	4,641	69,343	68,376
定期性	57,385	△5,643	△3,136	63,028	60,521

## 【参考資料】

### 1. 業績等予想【単体】

(1) 平成26年度業績予想について

(単位：百万円)

	26年度予想	25年度実績
経常利益	2,000	2,398
当期純利益	1,300	1,311
業務純益	2,430	2,762
業務純益（一般貸倒繰入前）	2,600	2,611
除く 国債等関係損益	2,200	2,036
貸出金関係損失	570	238

(2) 業務純益について

(単位：百万円)

	一般貸倒引当前	一般貸倒繰入後	
		除く 債券損益	
25年3月期	2,465	1,901	2,408
26年3月期	2,611	2,036	2,762
25年9月中間期	1,505	960	1,505
27年3月期予想	2,600	2,200	2,430
26年9月中間期	1,375	1,185	1,375

### 2. 役員、従業員数、店舗数【単体】

(単位：人、店舗)

	26年9月末			25年9月末	26年3月末
	26年9月末	25年9月末比	26年3月末比		
役員数	10	0	0	10	10
従業員数	681	46	66	635	615
店舗数	48	△1	0	49	48

(注) 従業員は出向者含む有価証券報告書ベース

### 3. 時価のある有価証券の評価差額【単体】

(単位：百万円)

(参考)

(単位：百万円)

	平成26年9月末		平成25年9月末		平成26年3月末	
	時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
その他有価証券	190,432	5,119	183,717	3,611	186,053	4,115
株式	3,090	462	2,825	367	2,913	390
債券	172,736	2,211	168,507	1,616	169,833	1,883
その他	14,606	2,445	12,384	1,627	13,306	1,841

(注) 1. 「評価差額」は、各中間期末の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券は保有していません。

#### 4. 保有株式について【単体】

##### (1) 保有株式

(単位：百万円)

	取得原価ベース	時価ベース
25年9月末	3,687	4,055
26年3月末	3,772	4,162
26年9月末	3,856	4,318

##### (2) 減損処理について

(単位：百万円)

	株式等関係損益	うち減損処理額
25年9月中間期	9	17
26年3月期	8	17
26年9月中間期	68	15

#### 5. 不良債権について

##### (1) 処理損失

###### a. 単体ベース

(単位：百万円)

	①一般貸倒引当金 純繰入額	②不良債権処理額	総与信費用 ①+②
25年3月期	56	438	494
26年3月期	△151	390	238
25年9月中間期	△191	△9	△200
27年3月期予想	170	400	570
26年9月中間期	△44	△21	△65

②=個別貸倒引当金、貸出金償却、債権売却損など臨時損益段階の合計

###### b. 連結ベース

(単位：百万円)

	①一般貸倒引当金 純繰入額	②不良債権処理額	総与信費用 ①+②
25年3月期	56	443	499
26年3月期	△151	390	238
25年9月中間期	△191	11	△180
27年3月期予想	170	400	570
26年9月中間期	△44	△21	△65

## (2) 残高について

(単位：百万円)

	自己査定				
	破綻・実質破綻先 ①	破綻懸念先 ②	破綻懸念先以下 ①+②	要注意先債権 ③	計 ①+②+③
25年9月末	1,526	4,477	6,003	50,640	56,643
26年3月末	2,224	4,404	6,628	53,227	59,856
26年9月末	2,200	4,195	6,395	57,898	64,293

	金融再生法基準	
	要管理債権 ④	計 ①+②+④
25年9月末	3,104	9,108
26年3月末	3,563	10,191
26年9月末	3,552	9,948

## (3) 最終処理と新規発生

## a. 残高について

(単位：百万円)

	破産更生債権	危険債権	合計
25年9月末	1,526	4,477	6,003
26年3月末	2,224	4,404	6,628
26年9月末	2,200	4,195	6,395
26年3月→26年9月新規増加	238	355	593
26年3月→26年9月オフバランス化	△262	△564	△826
26年3月→26年9月増減	△24	△209	△233

(注) 上記「オフバランス化」には債権区分間の移動額が含まれております。

## b. オフバランス化の内訳

(単位：百万円)

	26年9月中間期実績	26年3月期実績	25年9月中間期実績
清算型処理	—	—	—
再建型処理	—	—	—
再建型処理に伴う業況改善	—	—	—
債権流動化	—	△217	△217
RCC向け売却	—	—	—
直接償却	△7	△53	△53
その他	△819	△3,010	△2,586
回収・返済	△535	△1,663	△1,419
業況改善	△284	△1,347	△1,166
合計	△826	△3,281	△2,857

## (4) 平成26年9月期に実施した金融支援について

(単位：百万円)

	金額	件数
債権放棄	7	1
私的整理ガイドラインに基づくもの	—	—
デット・エクイティ・スワップ	—	—
優先株の引き受けなど	—	—
合計	7	1

## (5) 債務者区分ごとの引当額と引当率

(単位：百万円、%)

	26年9月末		26年3月末		25年9月末	
	引当額	引当率	引当額	引当率	引当額	引当率
実質破綻・破綻先債権	1,327	100.00	1,405	100.00	699	100.00
破綻懸念先債権	1,369	73.41	1,338	69.49	1,734	76.16
要管理先債権	878	19.27	929	21.05	733	19.14
その他要注意先債権	171	0.32	136	0.28	266	0.57
正常先債権	61	0.02	89	0.03	114	0.04
責任共有制度対象債権引当金	131	0.97	138	1.04	117	0.95

(注) 責任共有制度対象債権に対する引当金は、正常先債権～要管理先債権に対する引当額とは別立てにて開示しております。

## (6) ディスカウント・キャッシュフロー的手法による引き当て

(単位：百万円)

	適用先数	引当額	無担保部分
25年9月中間期	4	1,558	1,739
26年3月期	3	1,279	1,555
26年9月中間期	3	1,252	1,524

## (7) 不良債権比率（金融再生法基準）

(単位：%)

	24年9月期	25年3月期	25年9月期	26年3月期	26年9月期	27年3月期 (予想)
単体ベース	3.38	2.87	2.45	2.60	2.49	2%台
連結ベース	3.38	2.87	2.45	2.60	2.49	2%台